

Do! エコ物流

環境にやさしい物流・エコ物流ってなんだろう？



埼玉県のマスコット
「コバトン」

埼玉県内のCO₂排出量のうち、約4分の1が自動車から排出されています。荷物の輸送に大きく係る荷主が、環境にやさしい物流・エコ物流を行うことで、自動車から排出されるCO₂を削減することができます。



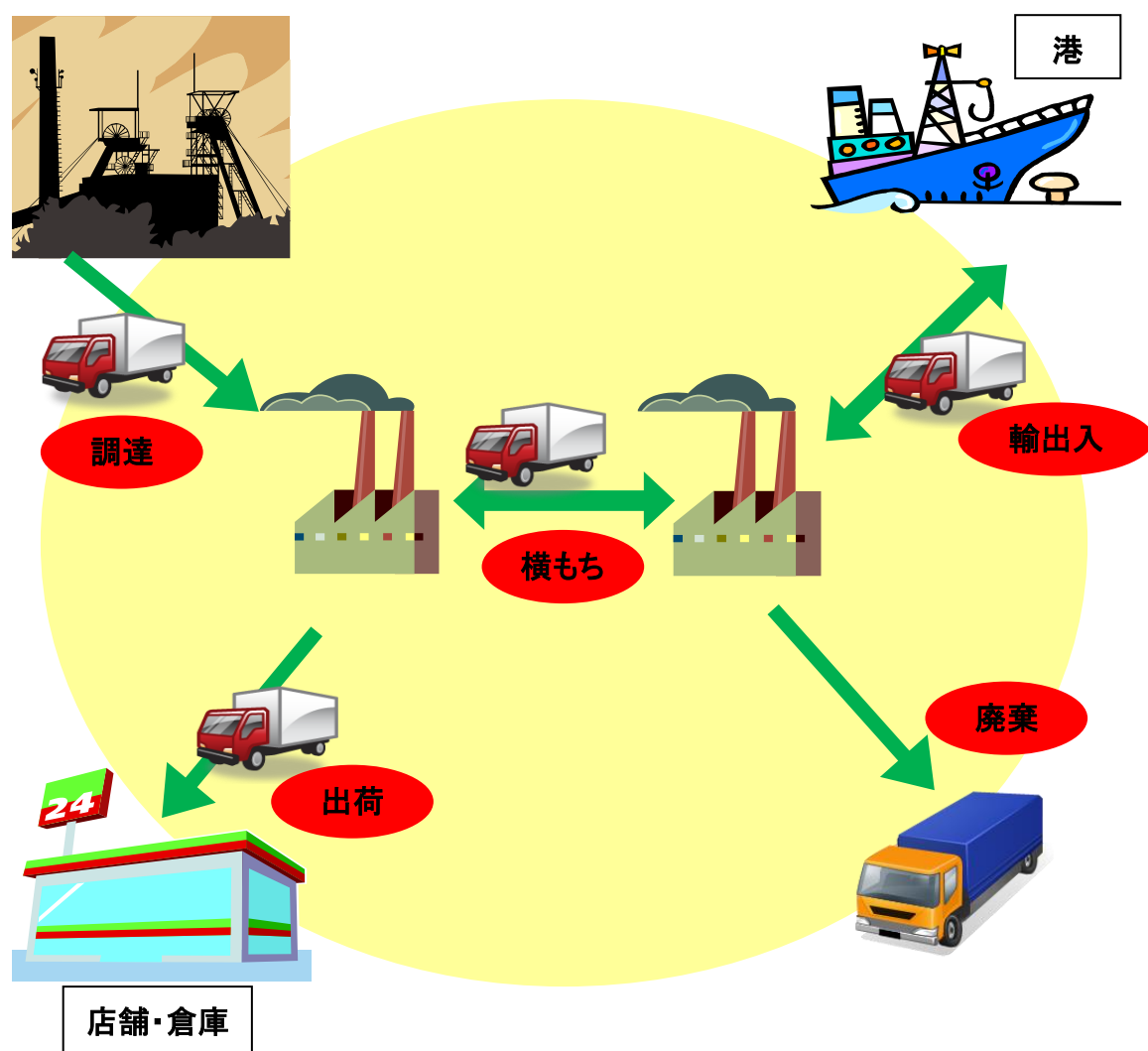
彩の国
埼玉県

物流における荷主の役割は？

埼玉県内のCO₂排出量のうち、約25%が自動車から排出されており、そのうち約65%がトラックなどの物流部門から排出されています。

物流の方法を見直し、環境にやさしい物流・エコ物流を推進しましょう。
エコ物流を成功させるためには、荷主、貨物輸送事業者が互いに連携し協働することが必要です。トラックから排出されるCO₂を削減するために、トラックを運行している貨物輸送事業者だけでなく、配送を委託している荷主がCO₂を抑制する措置を講ずることは、大きな効果があります。

では、エコ物流にはどんな取組があるのでしょうか？



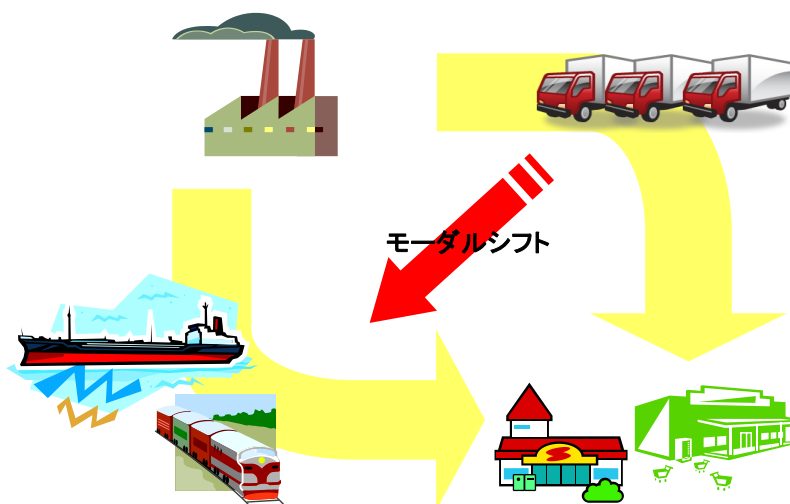
環境にやさしいエコ物流を！

●環境に配慮している貨物輸送事業者を選ぶ……………

貨物輸送事業者を選定する時は、環境に配慮している事業者を選定しましょう。例えば、ISO14001・グリーン経営認証・埼玉県エコアップ認証を取得していることなどを基準とします。また、貨物輸送事業者に対して、環境への配慮を要請しましょう。

●モーダルシフト……………

トラックによる輸送から、より環境に対する負荷の少ない鉄道や海運などによる輸送に変更することを「モーダルシフト」といいます。これらは、一度にたくさんの荷物を運ぶことができ、CO₂の排出量が少ないので、長い距離を輸送する場合には特に効果的です。



●積載率の向上……………

荷物を積む際には、満載に近い状態で積載しましょう。積載率を向上するには、例えば以下のような方策があります。

- ・荷姿を標準化する
- ・梱包資材をコンパクトにする
- ・他の事業者の荷物と合わせて運ぶ（共同配送）
- ・荷物の量に応じた大きさのトラックを使用する

●サードパーティロジスティクス（3PL）を活用する……………

サードパーティロジスティクス（3PL）とは、荷主に代わって、最も効率的な貨物の輸送を行うサービスを提供することです。3PLを実施している事業者は、効果的な輸送に係る計画の立案、システムの構築を行っています。効果的に活用しましょう。

●排出している二酸化炭素の量を把握する・・・・・・・・・・・・・・・・

事業活動に伴い運行する貨物車両から排出されるCO₂の量を把握し、削減目標を立てましょう。CO₂の量を把握するには、以下のような方法があります。

- ・燃料法 : $CO_2\text{排出量} = \text{燃料使用量} \times CO_2\text{排出係数}$
- ・燃費法 : $CO_2\text{排出量} = \text{輸送距離} \div \text{燃費} \times CO_2\text{排出係数}$
- ・トンキロ法 : $CO_2\text{排出量} = \text{輸送トンキロ} \times \text{トンキロ法}CO_2\text{排出原単位}$

※詳細は経済産業省・国土交通省のホームページを御参照ください

●低燃費車（ハイブリッド自動車・電気自動車など）を使用する・・・・・・・・

低燃費車や省エネルギー支援機器（アイドリングストップ装置など）を積極的に使用しましょう。また、貨物輸送事業者に対し低燃費車や省エネルギー支援機器の使用を働きかけましょう。



●エコドライブの実践・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

「ふんわりアクセル」、「早めのアクセルオフ」、「アイドリングストップ」などのエコドライブを行うことで、CO₂の排出を大幅に削減することができます。

貨物輸送事業者に対しエコドライブを実践するよう要請し、エコドライブを推進しましょう。また、ドライバーにエコドライブ研修を受講するように働きかけましょう。

●路上駐車を防止する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

交通渋滞をもたらす路上駐車を防止するため、トラックの駐車場所の確保や運転手控室の設置などの取組を行いましょう。

